

吉野川を釣る！



(吉野川河口 阿波しらすさぎ大橋を望む)

こんにちは。今回初投稿させていただきますすらいの釣り人系河川管理者のNです。趣味のルアーフィッシングを通じて、吉野川流域の素晴らしさを皆様にお伝えできればと思います。

私は、ルアーでいろいろな魚を釣ることを趣味としていて、現在までに270種ほどの魚（淡水・海水・軟体動物含む）を釣っています。

今回、徳島に本当に久しぶりに勤務することとなりましたので、「吉野川でルアーにより何種類釣れるのか」に挑戦してみたいと思います。

前号のYさんと違い写真のクオリティーに大きな差がありますので、そのところについてはご容赦下さい。

<吉野川河口での挑戦【春編】>



今回の釣り場は、吉野川の河口付近。久しぶりの吉野川ということで、取りあえず魚が集まっていそうな河口をセレクトしました。駐車スペースもあり、歩いてすぐ釣りが出来るのも魅力です。

近くでは、高速の橋の工事が進んでいます。

最初ということで、手堅く釣果が見込める底物（ヒラメ・マゴチ等）から狙ってみることにしました。ルアーは、ワームやテイルスピニングです。

底物の釣れる時期は、四国では春と秋が定番です。理由はベイト（イワシ類・鮎の稚魚）が産卵等で接岸するからです。また、時間帯は、早朝・夕方ですが、潮が動いていてベイトがいれば日中でも釣れます。ヒラメ・マゴチは群れで行動していることが多く大型以外は、

1匹釣れば連発することが多いです。ただどちらも個体数の多い魚ではないので根気よく釣り場に通ってポイントを絞り込むことが必要です。どちらも変化のあるところが大好きなので、岩があるところとか、かけあがり（底の角度の変わるところ）とかいろいろ投げてみて変化を探ることが大事です。また、マゴチは泥質、ヒラメは砂質にいることが多いので、試してみてください。

～～結果発表～～

残念ながら、マゴチは釣れませんでした。ヒラメ41cmとトカゲエソ41cmが釣れました。

ヒラメ



<タックルデータ>

ロッド：9.6f（約3m）
 リール：シマノ4000番
 ライン：PE0.8号
 リーダー：フロロカーボン5号
 ルアー：コアマンパワーブレード30g

トカゲエソ



<タックルデータ>

ロッド：9.6f（約3m）
 リール：シマノ4000番
 ライン：PE0.8号
 リーダー：フロロカーボン5号
 ルアー：コアマンパワーブレード30g

<ヒラメうんちく>

カレイ目 カレイ亜目 ヒラメ科 ヒラメ属 ヒラメ

棲んでいるところ：太平洋西部に分布。深さ10m～200mの砂地

大きさ：最大で1m以上、重さ10kg以上

食べているもの：大きくなると魚食そのため口が大きい。ちなみにカレイは、ゴカイ類を食べており口が小さい。

食べ方：刺身・焼く・煮る・天ぷらと何にしても美味。刺身にする場合は、活かしておき直前に神経締めが良。

・左ヒラメ、右カレイと言われるが、ヌマガレイのように左側に口がくるものもある。ちなみに左ヒラメ、右カレイと言いだめたのは、さかなくんと言われている。

・養殖・稚魚放流のものは、腹側に黒い模様があり、バンダヒラメと言われる。

<トカゲエソうんちく>

ヒメ目 エソ亜目 エソ科 マエソ属 トカゲエソ ※マエソ属のマエソ・ワニエソとは区別が付きにくい！

棲んでいるところ：青森から九州南岸の浅い砂泥地

大きさ：50cm以上になる。

食べ方：かまぼこ・じゃこ天の原料となる。私のオススメは、三枚に下ろして塩をして小骨が気にならなくなるまでかりかりに干し軽く火をあぶると酒のあてに最高です。